

第8回大阪市同和問題に関する有識者会議について

1 開催

平成31年3月25日(月) 午後2時～4時

2 出席者

坂元座長、赤井委員、石元委員、神原委員、谷口委員
中尾委員、西田委員、畑田委員、牧里委員、松井委員 (50音順、敬称略)

3 議事及び意見の要旨

(1) 大阪市における人権相談・啓発事業について

人権啓発・相談センターにおける人権相談の取組み、および人権啓発の取組みについて説明を行った。

(委員からの主な意見)

- ・課題別相談内容の表の構成比率の出し方は実相談件数で割って出す方がいいのではないかな。
- ・LGBTに関する相談はその他でなく項立てしてはどうか。
- ・インターネットの書きこみも人権侵害を受けているのであれば項立てしてはどうか。
- ・人権啓発相談センターで、各地域で取り組まれている相談事業を集約化すべきではないかな。
- ・差別事象の判断基準があれば示してもらいたい。
- ・人権啓発相談センターの専門相談員の待遇はしっかりしていただきたい。
- ・相談を受けたその後の対応も示してもらいたい。
- ・キャッチコピー等作品募集の入賞作品だが、これは誤解を生むのではないかな。

(2) LGBTなどの性的少数者に配慮した取組みについて

大阪市パートナーシップ宣誓制度及び大阪市LGBTリーディングカンパニー認証制度について説明を行った。

(委員からの主な意見)

- ・パートナーシップ宣誓だが、周囲の無理解や偏見などもありカミングアウトできない人もいる。教育啓発が重要な課題である。
- ・パートナーシップ宣誓受領書の効果はどうなっているのか。
- ・大阪市としてこういう取組みを先行してやっているが、なぜやるようになったのか。
- ・SOGIという言葉の使い方を今後検討してもらいたい。
- ・リーディングカンパニー認証制度の企業への周知方法と認証のメリットを教えてもらいたい。

(3) その他について

部落差別の解消の推進に関する法律第6条に基づく部落差別の実態に係る調査について、国からの要請により具体的な設問様式は出すことはできないと説明の上、別紙3により調査の概要について説明を行った。

(委員からの主な意見)

- ・ 本件が「その他」の議題としての扱いはおかしい。
- ・ 国から具体的な調査内容項目等について情報管理を徹底するよう言われているとのことだが、そういった国のやり方でいいのか。国にそのことについて伝えておいてもらいたい。